

平成29年第1回（3月）定例会一般質問

2月28日（火）

10番 恵藤千代子 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1. 豊後大野の更なる飛躍を、未来に向けた活力あるまちづくりの取組について	<p>① 合併時の課題「一体感の醸成」に向けた取組の成果は。</p> <p>② 将来、豊後大野で活躍できる人材育成の推進は。</p> <p>③ 若い人が住み、子どもが生まれ育むことが地域の活性化につながる若者の流入定着の促進を。思い切った施策が必要ではないか。</p> <p>④ 地域ブランドの確立に向けた取組は。</p> <p>⑤ 豊後大野の魅力を発信するための広告宣伝の取組は。印象に残るPR動画の制作の検討は。</p> <p>⑥ 豊かさがたくさんある豊後大野、未来を切り拓くには「市民の力」が必要。今後のまちづくりの展開をトップリーダーとしてどのように考えているのか。</p>	市長	

5番 内田俊和 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1. 豊後大野市のまちづくりの課題について	<p>① まちづくりにおいて最も重要な課題は何だと考えますか。</p> <p>② その課題にどのように対策を講じてきましたか。</p> <p>③ 成果はいかがですか。</p>	市長	

	<p>④ 課題はどのようにすれば解決できると思いますか。</p> <p>⑤ 私は先般の定例会で質問を行っていますが、人口減少問題が一番の課題であると思います。一人一人に豊後大野市の課題を説明し、いかに実行していくかを示してはいかがか。</p> <p>今やるべきことを見失うことは将来に負を残すのでは。</p>	市 長	
--	--	-----	--

4番 小野勇治 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1. 1メートルからの民主主義の成果は	<p>橋本市政2期8年を伺う。各項目について、より具体的なデータ数値を年度ごとに、端的に示していただきたい。</p> <p>① 農業所得額、農業就業者数</p> <p>② 定住対策の成果</p> <p>③ ジオパーク事業の経済効果と流入人口の推移</p> <p>④ 里の旅公社の収支実績及び地域貢献</p> <p>⑤ 三重総合高校奨学金制度の効能</p>	市 長 教育委員長	
2. 介護保険アンケート委託について	<p>65歳以上の健康な市民に対するアンケート調査が行われたが、その趣旨と経過について伺う。</p> <p>① アンケートの主たる目的について伺う。</p> <p>② 委託発注にかかわる経過について伺う。</p>	市 長	

15番 衛藤正宏 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答弁者
1. 平成29年度 豊後大野市の重点 施策について	本市の現状は、超少子高齢化に突入して まいりました。 市民の声を的確に捉え、計画的に処理、 解決することは市の責務であります。平成 29年度の重点施策について伺う。	市 長	

3月 2日 (木)

7番 神志那文寛 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求 め た 者	答 弁 者
<p>1. 190億円を超える基金の有効活用を</p>	<p>一般会計の定額運用を除く基金は、合併時は約53億円であったものが、2015年度決算では、約193億円と、11年間で140億円もの増加となっています。</p> <p>① 豊後大野市の財政規模に対して、総額193億円の基金が求められているのでしょうか。合併後140億円もの基金の増加について、主な要因を伺います。</p> <p>② 暮らしの応援、福祉の充実、地域経済を元気にするために、この193億円もの基金も有効に使うべきだと考えます。課題は多いと思いますが、基金の有効活用の考え方を伺います。</p>	<p>市 長</p>	
<p>2. 災害に備えた公共施設の整備方針(案)について</p>	<p>① 地域総合コミュニティセンター(仮称)化とは、具体的にはどのような事案を想定しているのでしょうか。現状では、何が困っているのでしょうか。</p> <p>② 朝地支所を、川を挟んだ駐車場用地に建設することは問題があるのでしょうか。</p> <p>③ 大野公民館は、この際、隣保館機能を廃止し、その建物全体を公民館・コミュニティセンターに変更し、ホール等の増設を行ってはどうか。</p> <p>④ 公民館の運営を指定管理した場合、利用する住民に対する公平性は、十分に維持されるのでしょうか。</p>	<p>市 長</p>	

	また指定管理者は、個人、公共的団体、民間の団体、民間営利会社など、どのような想定をしているのでしょうか。		
3. 三重原付近の悪臭防止策について	<p>三重原付近の住民は、2004年頃より長い間悪臭に苦しんでいます。悪臭軽減のため、引き続き対策を求めます。</p> <p>① 悪臭について、市にはどのような苦情がどの程度きていますか。</p> <p>② 悪臭防止のために、事業者はどのような対策を講じてきましたか。</p> <p>③ 市はどんな援助や対策を講じてきましたか。</p> <p>④ 悪臭は、当初からどの程度軽減されましたか。</p> <p>⑤ 悪臭の更なる軽減のために、今後はどのような対策を考えていますか。</p>	市長	

17番 宮成昭義 議員

質問事項	質問の趣旨	答弁を求めた者	答弁者
1. 地域資源を活かした「おおいた豊後大野ジオパーク活動」の更なる取組の推進について	<p>① おおいた豊後大野ジオパークは、平成25年に認定され3年が経過しました。「ジオパークは、地質的要素に加え、自然、歴史、文化、産業といった地域資源を保護・保全しながら、観光や教育等にいかす事で、地域の持続的な発展を図る」新たな取組であると認識しています。</p> <p>この事から、ジオパークを推進する組</p>	市長	

	<p>織や団体のみにかかわらず、これらの組織を超えた全市的な活動にも注目しているところであります。</p> <p>そこで、これまでの活動において、どのような連携が図られ、どのような効果があったのか伺います。</p> <p>② 今年の秋に4年に一度の再認定審査を受けるわけではありますが、これまでの活動を通じて見えてきた課題、そしてそれらを踏まえた再認定に向けての取組について伺います。</p> <p>③ 「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」の認定にも取組んでいますが、「おおいた豊後大野ジオパーク」との連携をすることにより相乗効果が生まれ、本市の知名度やブランド力を向上させることにより、市内産業全般にわたる大きなチャンスと考ますが、今後の取組の方針やどのような着地点を目指していくのか伺います。</p>		
<p>2. 基幹産業とする豊後大野市の農業振興について</p>	<p>第3次豊後大野市農業振興計画で「ひとづくり、ものづくり、システムづくり」の三つの柱を基本として、本市の農業振興施策の展開を図るとしてあります。</p> <p>そこで、三つの柱について伺います。</p> <p>① 一つ目の柱である「ひとづくり」の見地からの担い手の確保・育成の取組状況について伺います。</p> <p>② 二つ目の柱である「ものづくり」の観点から、「大分の野菜畑・豊後大野」の更なるブランド化へ向けた取組と戦略品目</p>	<p>市長</p>	

	<p>の拡大状況と市場評価の動向をどのように捉えているのか伺います。</p> <p>③ 三つ目の柱である「システムづくり」の視点から、豊後大野の農業振興を目指すためには、先に質問した「おおいた豊後大野ジオパーク」などの地域資源を活かした地域ブランドの確立、販売戦略が一元化し、農・商・工・観と共に組織や団体との連携した総合的体制づくりが必要と考えます。その考え、取組について伺います。</p>		
--	--	--	--

9番 衛藤竜哉 議員

質問事項	質問の趣旨	答 弁 を 求めた者	答 弁 者
1. これからの公有施設の建て替え・改修、管理・運用の考え方は	<p>国からの地方交付税の一本算定により、市の財政が更に厳しくなる平成32年度まで、あと3年であります。</p> <p>平成17年の豊後大野市発足以来、紆余曲折ありながら公共施設の整理を行い、大きな事業はほぼめどがついたという思いですが、ここに来てまた大きな事業が行われようとしている。そこで伺う。</p> <p>① 支所・公民館の建て替えの構想は。地域住民の意見等は考慮するのか。</p>	市 長	

	<p>② 市図書館・歴史民俗資料館の建て替えの構想は。</p> <p>もっと開かれた議論に期待し、市民にも納得してもらえるような手立てが必要では。</p> <p>③ 市内外から利用されている大きなスポーツ施設を改修し、しっかり管理しないと他市間競争に負けてしまっている。ツーリズムとして現状では後れを取るばかりである。</p> <p>スポーツ・ツーリズムとしての分野は誘致・施設運用を単独で管理すべきだが考えは。</p>		
--	--	--	--